

1. 科目名 (単位数)	開発経済論 (2単位)		3. 科目番号	SBMP3118						
2. 授業担当教員	武本隆行									
4. 授業形態	講義、集団討議、学生との応答などを併用する。		5. 開講学期	春期/秋期						
6. 履修条件・他科目との関係	経済学を学んだ上で受講することが望ましい。									
7. 講義概要	開発経済学は、一国が低開発段階から経済発展を遂げるために必要な要素・政策や成長の制約要因を、経済学的手法により探る学問である。本講義では低開発段階から経済発展を遂げるために必要な様々な経済的条件に着目して講義を進める。途上国の国々には、比較的大きな経済成長・経済発展がみられる国もあるが、発展のパスに乗れていない国も存在する。発展を遂げた国、未発展・低開発の国それぞれに共通する政策や問題点を事例を交えながら指摘し、経済発展のために今後どのような開発が必要かについて論ずる。									
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開発経済学の観点から発展途上国が抱えている問題を理解する。 2. 途上国諸国の経済発展の歴史と発展するための条件を理解する。 3. 経済発展の進んだ国と遅れている国の違いは何かを理解する。 4. 途上国間の地域統合やサブリージョナルの経済統合の動きを理解する。 5. わが国と途上国諸国との経済的な結びつきを理解する。 									
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	各回の授業内容に即した題目について自身の考え (考察) を著し提出してもらう。また、授業外時間に自身での下調べを要するレポート提出も不定期に実施。									
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 黒崎卓・栗田匡相著『ストーリーで学ぶ開発経済学—途上国の暮らしを考える』有斐閣、2016 【参考書】 必要に応じ授業内にて適宜提示する									
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> 1. 開発経済に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 2. 経済学的な思考が身についたか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、期末試験、レポート等を総合して評価する。] <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>1 授業への積極的参加</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>2 期末試験</td> <td>総合点の50%</td> </tr> <tr> <td>3 課題レポート</td> <td>総合点の30%</td> </tr> </table>				1 授業への積極的参加	総合点の20%	2 期末試験	総合点の50%	3 課題レポート	総合点の30%
1 授業への積極的参加	総合点の20%									
2 期末試験	総合点の50%									
3 課題レポート	総合点の30%									
12. 受講生へのメッセージ	先行き不透明な現代社会においては、主体性つまり「自らの考えや判断に基づき責任を持って行動すること」が極めて重要です。企業が新社会人に求める必須要件でもあります。受け身ではなく積極的発言をはじめとした能動的な授業への参加を求めます。									
13. オフィスアワー	初回授業内にて周知する。									
14. 授業展開及び授業内容										
講義日程	授業内容	学習課題								
第1回	オリエンテーション (講義概要の説明) 及びある途上国のお話 (プロローグ)	事前学習	教科書 pp. 2~8 を通読しておくこと。							
		事後学習	教科書 pp. 9~12 を精読にて読み返しておくこと。							
第2回	農業～伝統的制度に秘められた知恵	事前学習	教科書 pp. 14~17 を通読及び p. 29 を熟読しておくこと。							
		事後学習	「開発経済としての農業」の要点と課題をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。							
第3回	農村信用市場～多様化する農村経済とマイクロファイナンス	事前学習	教科書 pp. 32~36 を通読及び p. 50 を熟読しておくこと。							
		事後学習	「マイクロファイナンス」の要点と課題をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。							
第4回	教育と健康～人づくりは国づくり	事前学習	教科書 pp. 52~53 を通読及び p. 68 を熟読しておくこと。							
		事後学習	「人的な資源・投資」の要点と課題をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。							
第5回	労働移動～移動を巡る諸問題	事前学習	教科書 pp. 70~72 を通読及び p. 86 を熟読しておくこと。							
		事後学習	「限界生産性や帰還移動」の要点と課題をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。							
第6回	経済成長と工業化～グローバル化した世界	事前学習	教科書 pp. 90~92 を通読及び p. 106 を熟読しておくこと。							
		事後学習	「資本蓄積や雁行型発展」の要点と課題をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。							

第7回	技術移転～学びの道も一歩から	事前学習	教科書 pp. 108～110 を通読及び p. 123 を熟読しておくこと。
		事後学習	「経済特区や産業蓄積」の要点と課題をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。
第8回	中間まとめ	事前学習	7回目までの学習内容をまとめ、教員への質問事項をまとめておく。
		事後学習	これまでに自身の記したノートを整理しておくこと。
第9回	開発金融～途上国とグローバル金融システムのつながり	事前学習	教科書 pp. 126～128 を通読及び p. 142 を熟読しておくこと。
		事後学習	「直接金融と間接金融」の要点と課題をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。
第10回	開発援助～援助の氾濫とファンジビリティ	事前学習	教科書 pp. 144～148 を通読及び p. 161 を熟読しておくこと。
		事後学習	「援助協調」の要点と課題をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。
第11回	持続可能な開発～環境と開発の対立を超えて	事前学習	教科書 pp. 164～166 を通読及び p. 182 を熟読しておくこと。
		事後学習	「持続可能な発展」の要点と課題をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。
第12回	途上国の希望	事前学習	11回目までの学習内容をまとめ、教員への質問事項をまとめておく。
		事後学習	授業内での議論をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。
第13回	なぜ現場へ行くのか～フィールド調査の実際	事前学習	教科書 pp. 192～193 を通読及び p. 199 を熟読しておくこと。
		事後学習	「リサーチ・クエスト」の要点と課題をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。
第14回	なぜ介入の効果を測るのか～印象論やナイーブな比較が持つ問題	事前学習	教科書 pp. 201～202 を通読しておくこと。
		事後学習	「インパクト評価」の要点と課題をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。
第15回	総まとめ	事前学習	全14回の学習内容をまとめ、教員への質問事項をまとめておく。
		事後学習	質問への回答内容を含め授業全体で学んだ内容をまとめる。
		期末試験	